

第2回 ヘルスケアイノベーションコース オフィシャルミーティング 「Liaison Tsunagu」開催報告

開催日時：2022年3月12日(土)13:00～16:00(受付12:30～)

開催場所：Web

開催形式：ハイブリッド形式(オンライン同期型+期間限定見逃配信)

参加費：無料

主催：高知大学医学部 連繋医工学分野

共催：高知大学医学部附属病院 医療技術部

参加数：62名(オンライン同期型:41、期間限定見逃配信:21)

開催概要

このコースの目指すところの一つは、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を養い伸ばすきっかけを与える場であることリエゾン力を学ぶところにある。今回はオフィシャルミーティングの開催テーマ「Liaison Tsunagu」を開催した。基調講演として、Mechanomedicine(メカノメディスン)という言葉を生み出し、世界に先がけて研究されている、岡山大学教授の成瀬恵治先生に「メカノメディスン—メカノバイオロジーから医療へ—」と題してご講演いただいた。

また、レクチャーセッションでは、高知大学工学部の老川稔先生および、高知大学医学部の関安孝先生に基礎研究からヘルスケア・人材育成をテーマとしてご講演いただいた。

大学院生のセッションでは、このコースの1期生2名に問題解決をいかに研究テーマとして消化していくのか、現在と今後を発表していただいた。

最後のセッションでは、このコースで「ロジカルシンキング・デザインシンキング」の科目を担当して頂いている宮田剛先生に、『連繋』からベンチャーへとして、連繋医工学の社会実装に向けての重要性と社会ニーズ等についてご講演いただいた。

今回も残念ながら、感染拡大のためWeb開催となったが、62名の参加登録があり、講演会は成功裏に終えることができた。

オフィシャルミーティングは年2回の開催とし、次回は7月の開催を予定している。